

# 梯川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～流域のあらゆる関係者の協働による、本支川一体となった流域治水対策の推進～

- 令和4年8月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、梯川水系においては、国、県、市等が連携した「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」の取り組みを集中的に実施することによる再度災害防止対策、流域全体の治水安全度を向上させるための事前防災対策を推進する必要がある。
- 氾濫原が低平地であるという特性を踏まえ、排水ポンプ場増強や総合治水対策の推進に関する条例に基づく開発事業者に対しての雨水流出抑制対策推進などを実施する。
- 浸水リスクの高い地域において、流域治水関連法等を活用し、土地利用規制等を検討及び実施する。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 災害復旧、河道掘削、引堤、堤防整備、横断工作物改築（橋梁改築）、河道拡幅、遊水地整備、浸透対策等
- 赤瀬ダムの事前放流の実施、木場湯の事前排水の実施・体制構築
- 砂防関係施設の整備
- 治山施設整備及び森林整備・保全の実施
- 農地、農業水利施設の活用（ため池事前放流等）
- 内水排除のためのポンプ新設
- 排水ポンプ場の増強
- 排水路改修・雨水貯留施設整備
- 雨水排水計画の検討
- 農業排水施設の機能保全対策
- 水田貯留機能（田んぼダム）の検討
- 学校施設を活用した校庭貯留施設の整備 等

## ■被害対象を減少させるための対策

- 多段階な浸水リスク情報の充実
- 総合治水対策の推進に関する条例
- 住宅地盤の嵩上げ、雨水貯留槽等設置に対する助成
- 立地適正化計画（防災指針）の策定による水害リスクの低い地域への居住誘導や既成市街地の防災力向上
- リスクが高い区域における土地利用規制（災害危険区域等）等

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 流域タイムラインの運用開始
- 自治体タイムラインの充実、マイ・タイムラインの普及促進
- 要配慮者施設等における避難計画の作成及び訓練実施の促進
- 水害リスク空白域の解消
- 地域防災計画の改定、防災ガイドマップの更新
- 防災アプリの開発
- WEBを活用した災害時の情報共有
- 水位計、河川監視カメラの活用・増設
- 国・県・市町等が連携した水防訓練の取り組み
- LINEを活用した危機管理の強化 等
- 気象情報の充実、予報精度の向上等

## ■グリーンインフラの取り組み 詳細は次ページ



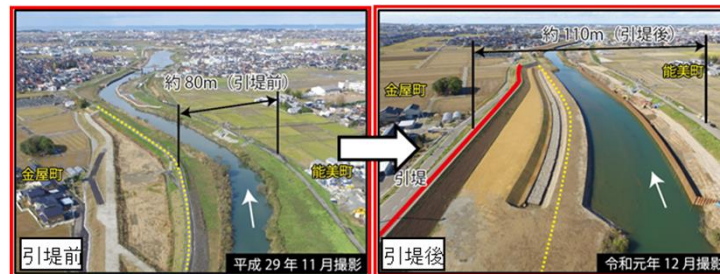
排水ポンプ場増強（小松市）



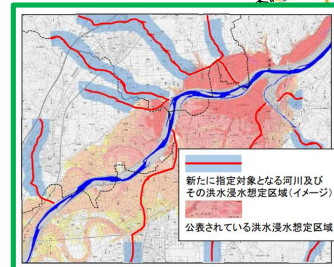
総合治水対策の推進に関する条例（小松市）



住宅地盤嵩上げに対する助成（小松市・能美市）



堤防の整備と河道掘削



水害リスク空白域の解消



- 校庭貯留施設の活用
- 農業用水路の活用
- 宅地の嵩上げ助成
- マイ・タイムラインの普及促進
- 要配慮者施設等の避難計画作成及び訓練実施
- 防災ガイドマップの更新
- WEBを活用した災害時の情報共有



凡例	
	浸水範囲（整備計画規模）
	大臣管理区間
	堤防決壊
	梯川流域境
	市町村境

※災害復旧箇所は、代表箇所を表示している。  
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 梯川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域のあらゆる関係者の協働による、本支川一体となった流域治水対策の推進～

梯川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市等の関係機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 令和4年8月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、「緊急治水対策プロジェクト」に基づき関係機関が連携し再度災害防止対策を推進する。被災箇所での早期復旧を図るとともに、梯川本川での荒木田大橋までの引堤・河道掘削、支川鍋谷川及び滓上川での堤防整備・河道掘削等、内水被害の大きかった箇所での排水ポンプの増強や総合治水対策の推進に関する条例に基づく雨水流出抑制対策等を推進する。あわせて、浸水リスクの高い地域では、流域治水関連法等を活用し、土地利用規制等を検討・実施する。

【中期】 短期に引き続き「緊急治水対策プロジェクト」を推進する。梯川本川での直轄上流端までの引堤・河道掘削・水門ゲート高不足対応、支川鍋谷川での堤防整備・河道掘削・遊水地、集水域での内水被害軽減及び流出抑制のための対策を推進する。これにより、令和4年8月同規模の洪水に対して氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図る。

【中長期】 「緊急治水対策プロジェクト」以外の事前防災対策を引き続き推進し、流域の治水安全度の向上を図る。梯川本川での横断工作物改築・浸透対策、支川前川での護岸整備・横断工作物改築、さらなる集水域での内水被害軽減及び流出抑制のための対策を推進する。これにより、梯川本川の直轄管理区間において河川整備計画規模の洪水(1,000m<sup>3</sup>/s)を安全に流下できる河道を整備する。

## 【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
			梯川水系緊急治水対策プロジェクト		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	災害復旧	国土交通省、石川県	[短期]		
	梯川 河道掘削（下流区間）	国土交通省	[短期] R7荒木田大橋まで		
	梯川 引堤・河道掘削	国土交通省	[短期]		
	梯川 横断工作物改築（橋梁改築）	国土交通省	[短期] R8舟場橋		
	梯川 水門ゲート高不足対応（梯川逆水門）	国土交通省	[短期] R5能美大橋		
	梯川 浸透対策	国土交通省	[中長期]		
	鍋谷川 堤防整備（背水区間）	国土交通省	[中期]		
	鍋谷川 河道拡幅、遊水地	石川県	[短期]		
	滓上川 堤防整備、河道拡幅、河道掘削、護岸嵩上、遊水地	石川県	[短期]		
	前川 河道掘削、護岸整備、横断工作物改築（橋梁改築）	石川県	[中長期]		
	赤瀬ダムでの事前放流の実施、木場潟での事前排水の実施と体制構築	石川県、国土交通省、農林水産省	[中長期]		
	砂防関係施設の整備	石川県	[中長期]		
	治山施設整備及び森林整備の実施	林野庁、石川県、（国研）森林研究・整備機構	[中長期]		
	農地、農業水利施設の活用、田んぼダムの検討	石川県、小松市	[中長期]		
	排水ポンプ場増強、排水路改修・雨水貯留施設整備	小松市	[中長期]		
被害対象を減少させるための対策	総合治水対策の推進に関する条例、立地適正化計画（防災指針）の策定等	国土交通省、石川県、小松市	[中長期]		
被害対象の軽減、早期復旧・復興のための対策	流域タイムラインの運用開始、要配慮者施設等における避難計画の作成及び訓練実施の促進 等	国土交通省、石川県、小松市、能美市、金沢地方気象台	[中長期]		
流域治水関連法の活用を検討		国土交通省、石川県、小松市、能美市	[中長期]		
グリーンインフラの取組	河道掘削に伴う産卵環境の保全	国土交通省	[中長期]		
	多様な生物の生息環境の保全・創出	国土交通省、石川県	[中長期]		
	水際環境の創出	国土交通省、石川県	[中長期]		
	瀬淵の保全	国土交通省	[中長期]		
	森林整備・治山対策による森林保全	石川県、（国研）森林研究・整備機構	[中長期]		
	ミズベリング梯川協議会による賑わい創出検討	国土交通省	[中長期]		
小学校等による河川環境学習	国土交通省	[中長期]			

緊プロ

緊プロ以外

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

### 【事業費】

■河川対策  
 全体事業費 約427億円  
 （内、緊急治水対策プロジェクト 約343億円）

■下水道対策  
 全体事業費 約14億円

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 梯川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～流域のあらゆる関係者の協働による、本支川一体となった流域治水対策の推進～

## グリーンインフラの取り組み ～多様な動植物が生息・生育・繁殖する自然環境を保全・創出～

【位置図】



石川県

○梯川は、長い汽水域や瀬と淵が連続する蛇行部、水際に連続する植生を有し、多くの動植物を育む自然豊かな河川であり、また、人の生活空間に近い場所でたおやかに流れる特徴がある。

○梯川に形成・維持されている瀬・淵、水際植生のある河岸、自然裸地などの多様な環境の維持・保全を目指し、今後概ね15年間で多様な河川環境を保全し、水際部では粗朶沈床など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



河川環境学習(水生生物調査)



ミズベリング梯川協議会

- 治水対策における多自然川づくり
- ・河道掘削に伴う産卵環境の保全
- ・多様な生物の生息環境の保全・創出
- ・水際環境の創出
- ・瀬淵の保全

- 森林整備・治山対策による森林保全
- ・健全な森林の造成・育成、治山施設の整備

- 自然環境が要する多様な機能活用の取り組み
- ・ミズベリング梯川協議会による賑わい創出検討
- ・小学校等による河川環境学習



森林整備・保全



森林整備・保全



粗朶沈床施工状況(水際環境の創出)



ヨシ・オギ等の水際環境の創出



カワセミ(繁殖環境の創出)



アユ(瀬・淵の保全)



環境に配慮した護岸整備状況(水際環境の創出)



カヤネズミ(繁殖環境の創出)



ウマノスズクサ(生育環境の保全)

【全域にかかる取組】  
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

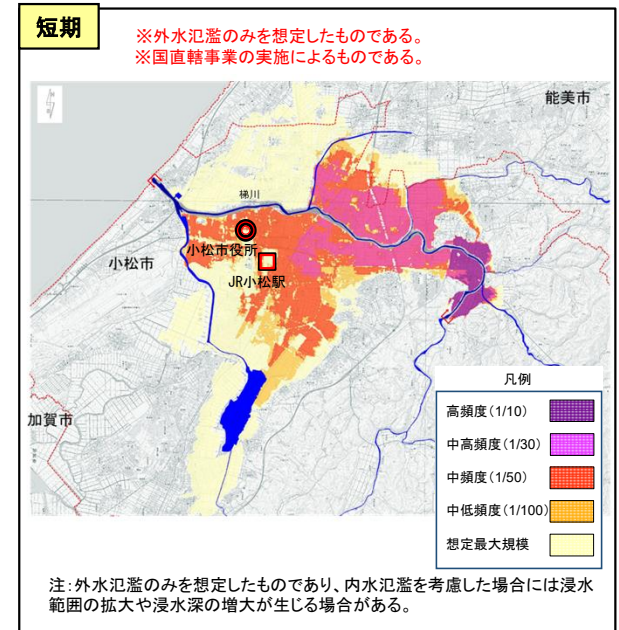
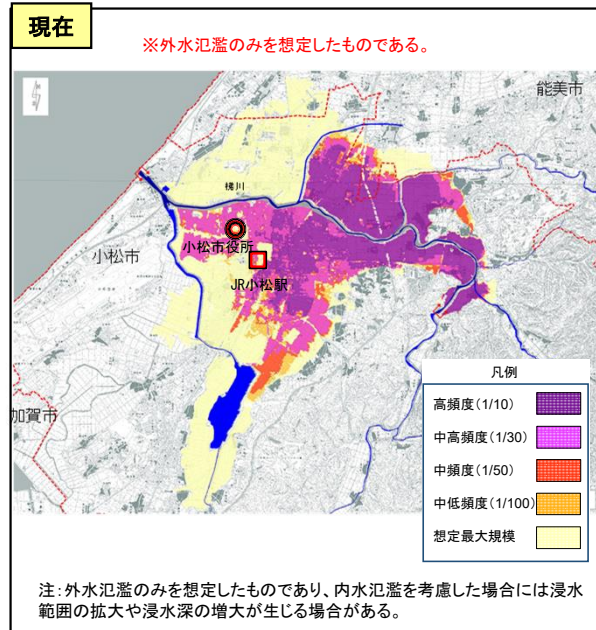
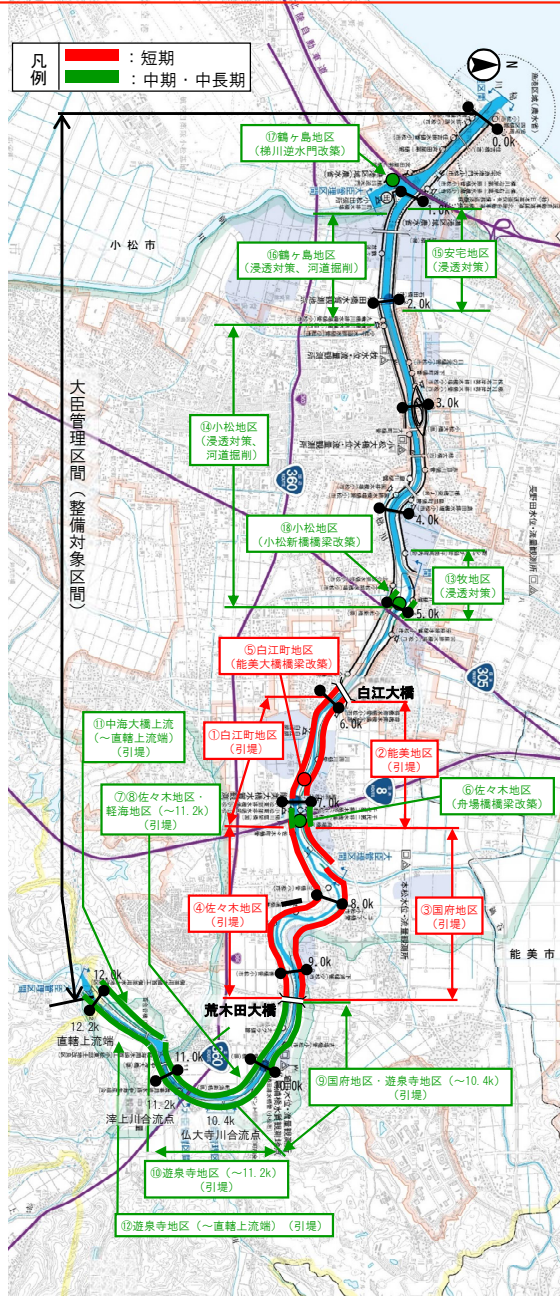
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 梯川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～流域のあらゆる関係者の協働による、本支川一体となった流域治水対策の推進～

荒木田大橋付近までの改修を概成することにより、埴田水位観測所での既往最高水位を観測した洪水（令和4年8月洪水）と同規模の洪水をH.W.L以下で流下させることが可能。  
また、旧堤撤去等により発生した土砂の有効活用により、荒木田大橋上流の築堤整備の進捗を図る。

**短期整備(5か年加速化対策)効果**  
： 河川整備率 約50.0%→約74.2%



区分	対策内容	区間	工程		
			R4末 短期 (R3~R7)	中期 (R8~R12)	中長期 (R13~R16)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削（下流区間）	白江大橋下流 (⑭、⑯)	61%	100%	
		白江大橋～荒木田大橋 (①、②、③、④)	100%		
		荒木田大橋上流 (⑦、⑧、⑨、⑩、⑫)		100%	
横断工作物改築（橋梁改築）	引堤・河道掘削	中海大橋上流 (⑪)			100%
		能美大橋架替 (⑤)	100%		
		舟場橋架替 (⑥)	46%	100%	
水門ゲート高不足対応	浸透対策	小松新橋 (⑱)			100%
		梯川逆水門 (⑰)	17%	100%	
		白江大橋下流 (⑬、⑭、⑮、⑯)			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 梯川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～流域のあらゆる関係者の協働による、本支川一体となった流域治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）



**整備率：74.2%**  
（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



**0市町村**  
（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



**24施設**  
（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所 **2箇所**  
（令和4年度実施分）  
砂防関係施設の整備数 **0施設**  
（令和4年度完成分）  
※施行中 0施設

立地適正化計画における防災指針の作成



**0市町村**  
（令和4年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 **4河川**  
（令和4年9月末時点）  
※一部、令和4年3月末時点  
内水浸水想定区域 **0団体**  
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



洪水避難確保計画 **343施設**  
24施設  
（令和4年9月末時点）  
個別避難計画 **2市町村**  
（令和4年1月1日時点）

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 梯川河川改修（河川整備）

梯川では、洪水を安全に流すための流下能力が大きく不足しているため、川幅を広げる「引堤整備」を進めている。令和5年度末までに、小松市一針町において引堤整備が完了。川幅が大きく広がった。



### 農業用水路の活用

能美市では、手取川宮竹用水土地改良区、小松市と連携し、強い雨が予想される際には、市内を流れる宮竹用水を停水し、農業用水路を排水路として活用することで、排水路の負担軽減を図る。

#### 大門用水高堂水門



## 被害対象を減少させるための対策

### 総合治水対策の推進に関する条例

小松市では、開発行為等により、現状よりも雨水流出量が増える施設について、「小松市総合治水対策の推進に関する条例」に基づき「雨水流出抑制施設」の設置を求めている。

小松市総合治水対策の推進に関する条例

### 住まい方の工夫（宅地嵩上げに対する助成）

小松市・能美市では、浸水による被害を軽減し、安全安心なまちづくりを推進するため嵩上げ浸水対策事業に関する費用の一部を補助している。



## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

### マイ・タイムラインの普及促進

地元小学生を対象に、梯川の前川排水機場にある『手作り学習館』にて、お仕事体験と合わせたマイ・タイムライン講習会の実施や、能美市による講習会や出前講座の実施により、防災意識や避難の重要性について啓蒙啓発を行った。



### 防災アプリによる情報配信

小松市では、「こまつ防災アプリ」を用いて、避難情報などを効果的に、かつ、確実に伝えることで、住民の避難や安全行動に結びつけ、被害の軽減を図る。



令和6年1月末現在 約10,000ダウンロード

参考

# 梯川水系緊急治水対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者の協働による、本川支川一体となった流域治水対策の推進～

- 梯川流域では、国、県、市町村等が連携して「梯川水系流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、以下の対策を実施する。
  - ・国、石川県は、河道掘削、引堤、遊水地整備等の対策を集中的に実施し、同規模の洪水に対して氾濫を防止する。
  - ・小松市、能美市は、雨水貯留施設の整備、排水ポンプの増強等を実施し、流域における浸水被害の軽減を図る。
- 更に、浸水リスクの高い地域では、流域治水関連法等を活用し、土地利用規制等を検討・実施する。

■事業期間 令和4年度～令和13年度

■事業費 全体事業費 約343億円  
【国:約272億円、県:約71億円】

■目標 令和4年8月出水と同規模の洪水に対し、浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域における対策

- ・災害復旧、河道掘削、引堤、堤防整備、横断工作物改築（橋梁改築）、河道拡幅、遊水地整備 等【国、県】
- ・赤瀬ダムの事前放流の実施【県】
- ・木場潟の事前排水の実施・体制構築【県、国】

○集水域における対策

- ・砂防関係施設の整備（津上川上流）【県】
- ・治山施設整備及び森林整備の実施（津上川上流）【県】
- ・農地、農業水利施設の活用（ため池事前放流等）【県】
- ・排水ポンプ場の増強（九竜橋川排水機場）【小松市】
- ・排水路改修・雨水貯留施設整備（石橋川遊水地）【小松市】
- ・宮竹用水の事前止水措置の実施【能美市、小松市】
- ・雨水排水計画の検討【小松市、能美市】
- ・農業排水施設の機能保全対策【小松市】
- ・水田貯留機能（田んぼダム）の検討【小松市、能美市】 等

※石川県が実施する河川区域での対策は、現時点で確定している事業箇所のみ記載しているため、今後追加となる場合がある。

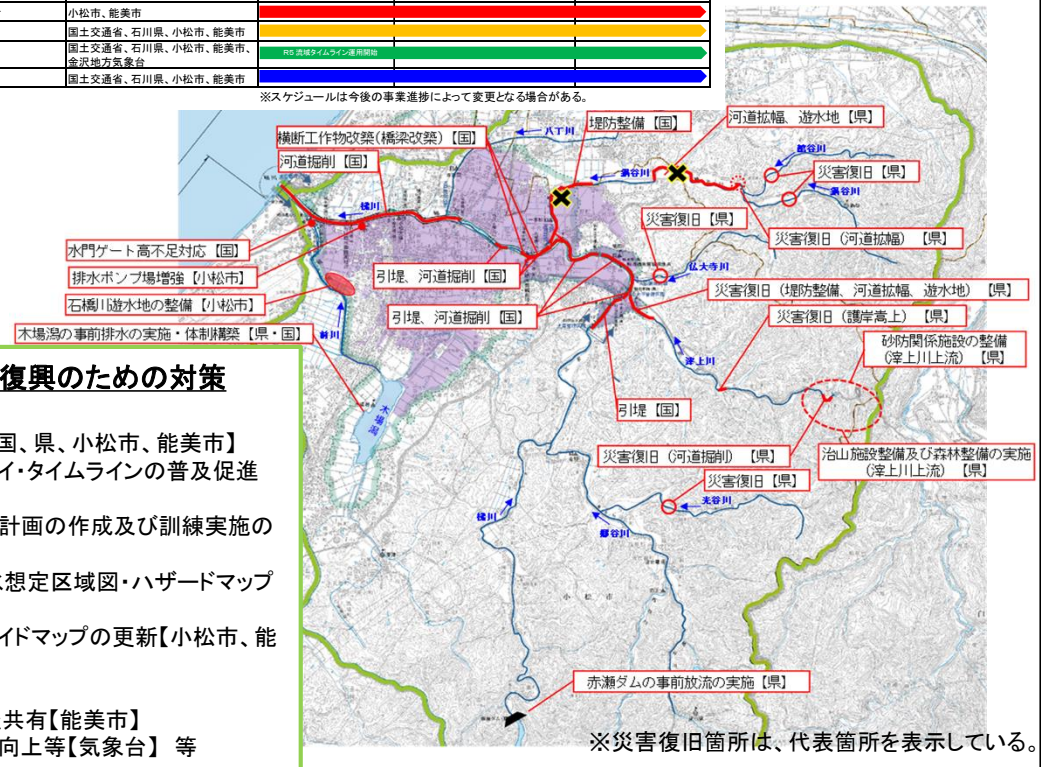
■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域における対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実【国・県】
- ・総合治水対策の推進に関する条例【小松市】
- ・住宅地盤の嵩上げ、雨水貯留槽等設置に対する助成【小松市、能美市】
- ・立地適正化計画（防災指針）の策定による水害リスクの低い地域への居住誘導や既成市街地の防災力向上【小松市】
- ・リスクが高い区域における土地利用規制（災害危険区域等）【小松市】 等

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程 (R4～R13)		
			R4～R6 【第一段階】	R7～R10 【第二段階】	R11～R13 【第三段階】
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	災害復旧	国土交通省	実施		
	災害復旧	石川県	実施		
	梯川 河道掘削(下流区間)	国土交通省	実施		
	梯川 引堤・河道掘削	国土交通省	実施		
	梯川 横断工作物改築(橋梁改築)	国土交通省	実施		
	梯川 水門ゲート高不足対応(梯川逆水門)	国土交通省	実施		
	鏡谷川 堤防整備(昔水区間)	国土交通省	実施		
	鏡谷川 河道拡幅、遊水地	石川県	実施		
	鏡谷川 災害復旧(河道拡幅)	石川県	実施		
	津上川 災害復旧(堤防整備、河道掘削、河道掘削、護岸嵩上、遊水地)	石川県	実施		
	赤瀬ダムでの事前放流の実施、木場潟での事前排水の実施と体制構築	石川県、国土交通省、農林水産省	実施		
	砂防関係施設の整備(津上川上流)	石川県	実施		
	治山施設整備及び森林整備の実施(津上川上流)	石川県	実施		
	農地、農業水利施設の活用	石川県	実施		
	排水ポンプ場の増強(九竜橋川排水機場)	小松市	実施		
排水路改修・雨水貯留施設整備(石橋川遊水地)	小松市	実施			
水田貯留機能(田んぼダム)の検討	小松市、能美市	実施			
被害対象を減少させるための対策	国土交通省、石川県、小松市、能美市	実施			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	国土交通省、石川県、小松市、能美市、金沢地方気象台	実施			
流域治水関連法の活用を検討	国土交通省、石川県、小松市、能美市	実施			



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※災害復旧箇所は、代表箇所を表示している。